

今、新婦人に入って平和の力に

働いている人も、忙しい人も、人生を重ねた人も……

会員としてゆるやかながって

新婦人はこんな会です

①平和と要求実現の女性団体、なんでもおしゃべり、政治をタブーにしない会です

女性のあらゆる願いをまとめた「五つの目的」(本紙1面上)を掲げ、核兵器廃絶と憲法守れの運動を大切に、力をあわせて活動しています。「The Personal is Political」(個人的なことは政治的なこと)と、困ったことやつぶやきも出し合い、意見を聞き合うことを「エチケット」として、おしゃべり。「政治のことも気がねなく、なんでも言えるのが新鮮、解放感がある」との声が寄せられています。

②全国に仲間がいて、ひとつにつながる会です

どこに行っても仲間の姿があります。会員3人以上でつくる班が全国に7800班、市町村に880の支部、47の全都道府県に県本部、中央本部があり、ネットワークでむすばれています。週刊の新婦人しんぶんを班やサークル(小组)で読んで、話し合っていることから行動。次世代ミニ交流をオンラインで定期開催、国会行動もとりにくんでいます。

③世界の女性と連帯、国連NGOです

2003年、国連NGOとして正式に認証された新婦人。レイラ化粧品1本1円を積み立てた「女性平和基金」で毎夏、世界の女性活動家を招待し、平和やジェンダー平等で活発に交流しています。イスラエルによるガザ虐殺やロシアによるウクライナ戦争やめよと、日本の草の根と世界が連帯し声をあげています。

名やスタンディング、アンケート、地元議員要請にとりくみ、今年6月、28年ぶりの国会審議に、「別姓反対」の女性自民党総裁を包囲するとき!(3面談話)



盲導犬のバス乗車、駅に点字ブロック、音響式信号機実現(愛媛・松山支部ひめゆり班)

⑥ 子ども医療費

1968年、「乳幼児医療費を無料に」から始めた運動が、全国各地で署名、要請、パレードを繰り返して、歴代大臣と直接交渉などで、今では名称も「子ども医療費」に。全自治体で助成を実施、「18歳まで」も7割となり、「国の制度に」と運動。他にも「ポストの数ほど保育所を」と保育所づくりにとりくみ、学童保育所は80年、167万人の署名をつみあげ、翌年、学童保育関係40%増、児童館140カ所の予算がついた。1面写真は乳幼児医療費無料化の厚生省(当時)交渉。

こし、700人以上が病院で手当てをうける事態に。放送は中断された。

新婦人は直ちに実態調査をおこない、テレビ東京と懇談。子どもたちの「ポケモンやめなさい」「ピカチュウは悪くない」という声を届け、国会でもとりあげられ、翌春放送が復活! 再発防止のガイドラインがつくられ、アニメ視聴の際には、「部屋を明るくして」など注意喚起が行われるようになった。

こんなことも各地で実現

- ・信号機の設置
 - ・通学路の街灯設置
 - ・学校トイレに生理用品
 - ・コンビニ成人雑誌撤去
 - ・補聴器に公費補助
 - ・公園に遊具
 - ・学校にエアコン
 - ・食品衛生監視員増員
 - ・パートナーシップ制度導入
 - ・家庭科の男女共修
- など

〈1面クイズの答え〉全部。ただし

④は途中、⑧は後退させられた

〈1面から〉解説

① 結婚退職制度

かつては「子持ち女は半人前」とされ、30歳定年制や結婚退職制が職場で横行していた。新婦人は差別是正の声をあげ、女性だけの声もあがり、裁判に各地で立ち上がった。職場の差別証言運動、パート実態調査にとりくみ、「女性採用は親元通勤が条件」など実態を労働省に突き付け、ガイドラインに反映させた。差別是正裁判に各地で立ち上がった。



職場の「お茶くみ」。職場の差別証言運動は週刊誌『女性セブン』にとりあげられた

② 公役・尻助金

地域の共同作業「公役」に男性でなく女性が出ると、「尻助金」とよばれる「不足金」をとる女性差別の慣習があった。80年の調査で、「総会に男の代わりに出ると500円払



「芝信用金庫の男女昇格差別は違法」との勝利判決

り、女性の権利を前進させてきた。1面写真は2500円」など明らかにになり、声をあげ、結婚退職を撤回させた神奈川の職場班。

③ ポルノ雑誌自販機

「性の商品化」に反対し、東京都本部などがポルノ雑誌自販機を調査し、撤去させた。



尻助金調査をする滋賀・八日市支部(現・東近江支部)つくし班

⑤ 核兵器禁止条約

熊本の新婦人は、金融機関から性風俗業界への融資総額が20年間で60億円に上ることをつきとめ、議会で申し入れ、行政指導で融資しないとの回答をえた。

④ 選択的夫婦別姓

「別姓・同姓を選べる制度に」「名前は人権」と、全国各地で署名した。

⑦ アニメ放送復活

1997年12月、テレビアニメ「ポケットモンスター」を見ていた子どもたちが画面の激しい点滅により、けいれん、嘔吐などを起

⑧ 老人医療費

1973年から83年まで10年間、老人医療費は無料だった。60年、岩手・沢内村(現・西和賀町)の全国初の乳児・老人医療費無料実施を機に新婦人は68年、全国で運動を開始。実施自治体が8割に広がり、73年1月から国の制度として70歳以上の医療費無料に。80年代、新自由主義政策が

⑨ 災害支援

新婦人は創立以来、冷害、地震、水害、炭鉱事故などのために全国から支援。自民党政府は「個人財産は自己責任」とし、支援を拒否してきた。1995年の阪神淡路大震災被災者への粘りつよい運動と世論で、98年に被災者生活再建支援法を実現。拡充を求める運動が続いている。1面写真は阪神淡路大震災後の新婦人救援隊。